

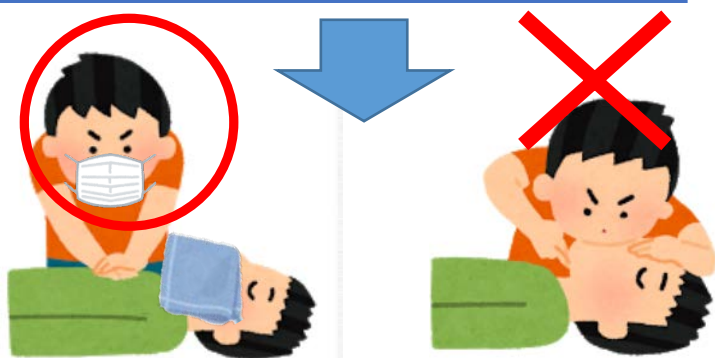
新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた 救急蘇生法について

新型コロナウイルス感染症が流行している状況では、
「すべての心停止傷病者に感染の疑いがある」ものとして対応する。

【感染予防のための注意点】

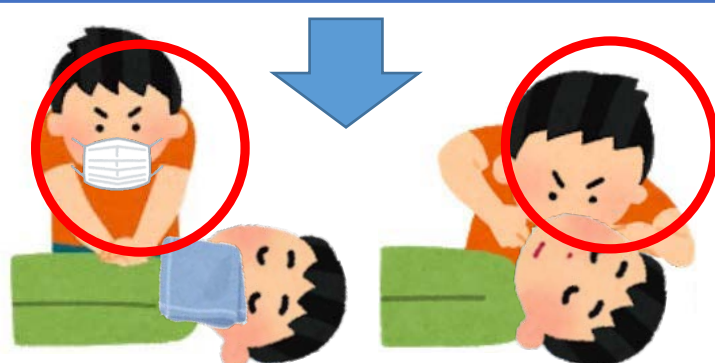
- ① 自分のマスクがあれば着用する。
- ② 反応の確認・呼吸の観察は、傷病者の口元に近づきすぎないように行う。
- ③ 胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオルがあれば、傷病者の鼻と口にかぶせる。

倒れている人が成人の場合



人工呼吸を行わずに胸骨圧迫とAED
による電気ショックを実施する。

倒れている人が子どもの場合



講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には、人工呼吸も実施する。
(人工呼吸の必要性が成人に比べて高いため)

救急隊が到着したら



- ① 速やかに石けんと流水で手と顔を十分に洗う。
- ② 傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れないようにして救急隊に廃棄を依頼する又はビニール袋等で密閉し廃棄する。



お問合せ: 泉消防署: 045-801-0119